

9月定例会

9月7日から
9月29日まで

21年度決算9件を認定

概要

岩沼市議会の9月定例会（平成22年第4回議会）は、9月7日に招集され、23日間の会期で開かれました。平成21年度の一般会計歳

入歳出など決算9件を含む22議案を原案通り認定するなどしました。

決算審査は、16日に特別委員会を設置した後、総務教育民生、建設産経の3部会にわかれて、4日間にわ

たり慎重に審査を行いました。教育委員会の委員1名の再任を求める議案を全会一致で同意しました。

16日の決算審査特別委員会終了後に、議員全員協議会が招集されました。市議会が招集されました。市議会が招集されました。市議会が招集されました。

また、巨理名取共立衛生処理組合議会議員から、下野郷藤曾根に建設計画のあ

ごみ処理施設建設で決議

全員協議会

巨理名取共立衛生処理組合（巨名）議会議員から新ごみ処理施設建設計画が遅滞しており、このままでは重大な問題になるとの報告がありました。

焼却施設建設用地（藤曾根地区）の一部に砂採取後に建設廃材を埋め戻していることが確認され、土壌検査でヒ素が基準値以上の結果となり、県から再検査の指導がありました。また、

最終処分場は、用地（名取市、熊野堂地区）取得を地元説明に入れていない状況です。巨名議会は、施設の完成に向けて、早急に計画を進めるよう文書で管理者会に申し入れています。

質疑①「瑕疵（かし）のある物件で瑕疵担保責任が生じ、売主は減額するべきである」

巨名議員答弁①「瑕疵担保責任があれば用地を減額して取得し、期限内

に施設を完成することが今の最大の命題である」

質疑②「ヒ素が自然のものか、埋め立てが原因か、分かるのはいつか」

巨名議員答弁②「ボーリング調査、水質検査等をした後でないと結果が出ない。費用は約3000万円掛かるといわれている」

※ 事業規模は、現在のとことろ約172億円（岩沼市関連のごみ焼却施設で約139億円、名取市関連の最終処分場で約33億円）となっています。

るごみ処理施設建設の進捗状況について報告があり、多くの議員から質疑がありました。

決議案1件「2市2町のごみ処理に支障を来さないよう、新施設の整備を急ぐことを求める決議案」を全会一致で可決しました。

一般質問は、15人が行い

ました。

巨理名取共立衛生処理組合議会議員の選挙

後藤一利議員が巨理名取共立衛生処理組合議会議員を辞職したことに伴い、次の議員を選出しました。

高橋孝内

| 議案番号 | 審議した議案等 | 審議結果 |
|-------|--|------|
| 議案40号 | 平成22年度岩沼市老人保健事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議案41号 | 平成22年度岩沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議案42号 | 平成22年度岩沼市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） | 原案可決 |
| 議案43号 | 平成22年度岩沼市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議案44号 | 平成22年度岩沼市一般会計補正予算（第3号） | 原案可決 |
| 選挙2号 | 巨理名取共立衛生処理組合議会議員の補欠選挙 | 当選決定 |
| 意見5号 | 所得税法第56条の廃止を求める意見書 | 原案可決 |
| 意見6号 | 尖閣諸島で生じた問題の早期解決を求める意見書 | 原案可決 |
| 決議2号 | 2市2町のごみ処理に支障を来さないよう、新施設の整備を急ぐことを求める決議案 | 原案可決 |
| 請願1号 | 岩沼市に「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める請願 | 採択 |
| | 委員会の閉会中の継続調査報告（総務常任委員会の特定事件） | 了承 |
| | 委員会の閉会中の継続調査報告（教育民生常任委員会の特定事件） | 了承 |
| | 委員会の閉会中の継続調査報告（建設産経常任委員会の特定事件） | 了承 |
| | 委員会の閉会中の継続調査中間報告（議会運営委員会の調査事件） | 了承 |
| | 議員派遣の件 | 決定 |